平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名　国際計測器株式会社　　上場取引所　大
コード番号　7722　URL　http://www.kokusaikk.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松本　繁
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長　(氏名) 松本　博司　TEL 042-371-4211

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,313	8.4	210	△58.7	146	△56.6	69	△71.0
23年3月期第2四半期	3,978	48.0	508	—	338	—	239	—

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△123百万円　(—%)　23年3月期第2四半期　53百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.96	—
23年3月期第2四半期	17.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,225	5,872	47.8
23年3月期	13,556	6,343	46.6

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　5,838百万円　23年3月期　6,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
24年3月期	—	20.00			
24年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	2.2	2,000	8.5	1,950	20.6	1,170	15.5	83.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	14,200,000 株	23年3月期	14,200,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	184,539 株	23年3月期	184,500 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	14,015,477 株	23年3月期2Q	14,015,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・ 6

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

(1)　四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・ 9
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
(4)　継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
(5)　セグメント情報・・12
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・・・・・・・・・・・13

４．補足情報・・・14

生産、受注及び販売の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

※　当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
・平成23年12月１日（木）・・・・・・・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、主力取引先である中国及び東南アジア地区の自動車及びタイヤメーカーの設備投資につきましては、前連結会計年度に引き続き堅調に推移しております。その一方で、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、燃料電池や電気自動車等の環境に配慮した研究開発分野への集中が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、製造ライン用の試験装置であるバランシングマシン及びシャフト歪自動矯正機と共に、研究開発用の試験装置である各種の電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を積極的に展開し、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーからの製造ライン向けタイヤ関連試験機を中心に62億１千７百万円（前年同四半期比12.0％減）の受注を獲得いたしました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、43億１千３百万円（前年同四半期比8.4％増）、営業利益は２億１千０百万円（前年同四半期比58.7％減）、経常利益は１億４千６百万円（前年同四半期比56.6％減）、四半期純利益は６千９百万円（前年同四半期比71.0％減）となりました。

売上高につきましては、客先への納品検収が第２四半期から第３四半期にずれこんだ物件が一部あり、当初の予想を下回りました。

利益面につきましては、外貨建の売上高の割合が高いことから、円高ドル安等により売上総利益率が低下したことや為替差損が発生したため、当初の予想を下回りました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国をはじめとするアジアの中堅タイヤメーカー向けバランシングマシンを中心として、受注高及び売上高共に堅調に推移しました。電気サーボモータ式振動試験機の本格的な事業展開を推進しておりますが、海外での主要決済通貨である米ドルの為替相場が円高に推移したことや客先への一部の納品検収が第３四半期にずれこんだことから、売上高は31億６千４百万円（前年同四半期比6.5％減）、セグメント損失（経常損失）は９百万円（前年同四半期は４億１千２百万円の利益）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

受注高が堅調に推移したことや中国向けの大型案件が検収されたことから、売上高は３億９千０百万円（前年同四半期比43.3％増）、セグメント利益（経常利益）は７百万円（前年同四半期は７百万円の損失）となりました。

〔米国〕

自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注高が堅調に推移したことや前連結会計年度から繰り越したバランシングマシンが予定通りに検収されたことから、売上高は４億３千２百万円（前年同四半期比288.0％増）、セグメント利益（経常利益）は１億１千６百万円（前年同四半期は２千７百万円の損失）となりました。

〔韓国〕

前連結会計年度に引き続き自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注高が堅調に推移しているものの、一部の納品検収が第３四半期以降にずれこんだことから、売上高は５億９千７百万円（前年同四半期比11.0％減）、セグメント利益（経常利益）は１億５千０百万円（前年同四半期比19.6％減）となりました。

〔中国〕

中国からの受注高は堅調に推移しておりますが、一部の納品検収が第３四半期以降にずれこんだことから、売上高は２億１千２百万円（前年同四半期比30.0％減）、セグメント利益（経常利益）は２千６百万円（前年同四半期比58.8％減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、79億６千７百万円（前連結会計年度末比13億２千０百万円減）となりました。これは、受注残高の増加に伴い仕掛品が増加（前連結会計年度末比４億６千８百万円増）したものの、売上債権が回収されたことにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比17億５千１百万円減）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、42億５千７百万円（前連結会計年度末比９百万円減）となりました。これは、のれんが償却により減少（前連結会計年度末比３千５百万円減）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、43億８千０百万円（前連結会計年度末比７億７千０百万円減）となりました。これは、法人税等を納付したことにより未払法人税等が減少（前連結会計年度末比６億４千８百万円減）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、19億７千２百万円（前連結会計年度末比８千９百万円減）となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金へ振替えたことにより長期借入金が減少（前連結会計年度末比９千８百万円減）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、58億７千２百万円（前連結会計年度末比４億７千１百万円減）となりました。これは、期末配当を実施したことなどにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比２億８千０百万円減）したことや円高ウォン安等の影響により連結子会社の為替換算調整勘定が減少（前連結会計年度末比１億９千３百万円減）したことが主たる要因であります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により５億２千９百万円増加し、投資活動により７千７百万円減少し、財務活動により３億５千１百万円減少した結果、現金及び現金同等物は前第２四半期連結累計期間に比べ６億８千８百万円減少し、13億４百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、５億２千９百万円の収入（前年同四半期比１億８千９百万円の収入減少）となりました。これは、法人税等を支払ったため７億７千３百万円の支出となったことや受注残高の増加に伴いたな卸資産が増加したことにより５億２千４百万円の支出となったものの、売上債権の回収により17億９百万円の収入となったことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、７千７百万円の支出超過（前年同四半期は１億８千６百万円の収入）となりました。これは、定期預金の満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が４億３千９百万円あったものの、資金運用のために定期預金の預入による支出が４億１千３百万円あったことや役員及び従業員を対象とした保険積立金の積立による支出が１億１千２百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、３億５千１百万円の支出超過（前年同四半期比３千３百万円の支出増加）となりました。これは、長期運転資金調達のため長期借入れによる収入が３億円あったものの、長期借入金の返済による支出が３億５千４百万円あったことや期末配当を実施したことにより３億５千０百万円支払ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の業績が予想を下回ったものの、納品がずれこんでいる案件が下半期に検収される予定であることから、平成23年５月13日発表の通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,539,388	2,481,910
受取手形及び売掛金	4,038,305	2,286,424
商品及び製品	264,982	292,257
仕掛品	1,405,028	1,873,138
原材料及び貯蔵品	578,073	546,080
繰延税金資産	274,869	310,897
その他	195,668	183,537
貸倒引当金	△7,667	△6,397
流動資産合計	9,288,648	7,967,848
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,579,212	1,558,946
機械装置及び運搬具	172,880	171,606
土地	1,671,246	1,666,843
その他	167,378	164,703
減価償却累計額	△1,068,879	△1,084,626
有形固定資産合計	2,521,838	2,477,473
無形固定資産		
のれん	105,844	70,562
その他	57,083	58,450
無形固定資産合計	162,927	129,013
投資その他の資産		
投資有価証券	153,454	150,397
長期貸付金	37,379	37,335
繰延税金資産	121	113
保険積立金	1,334,978	1,433,545
その他	75,895	54,452
貸倒引当金	△18,800	△24,424
投資その他の資産合計	1,583,027	1,651,420
固定資産合計	4,267,792	4,257,907
資産合計	13,556,440	12,225,755

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,217,836	1,782,181
短期借入金	250,000	400,000
1年内償還予定の社債	100,000	－
1年内返済予定の長期借入金	630,906	674,588
未払法人税等	776,898	128,572
賞与引当金	128,297	186,045
製品保証引当金	231,804	228,866
前受金	616,486	820,244
その他	198,684	159,913
流動負債合計	5,150,914	4,380,412
固定負債		
長期借入金	1,616,864	1,518,724
繰延税金負債	135,703	122,338
退職給付引当金	180,900	198,563
役員退職慰労引当金	123,956	128,623
資産除去債務	4,151	4,196
固定負債合計	2,061,575	1,972,445
負債合計	7,212,490	6,352,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	5,143,788	4,862,941
自己株式	△150,917	△150,946
株主資本合計	6,952,370	6,671,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,634	47,292
為替換算調整勘定	△687,196	△880,209
その他の包括利益累計額合計	△638,561	△832,917
少数株主持分	30,140	34,320
純資産合計	6,343,950	5,872,897
負債純資産合計	13,556,440	12,225,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	3,978,905	4,313,977
売上原価	2,343,953	2,885,157
売上総利益	1,634,952	1,428,819
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	106,905	103,725
貸倒引当金繰入額	735	6,695
役員報酬	42,580	84,600
給料手当及び賞与	233,793	255,167
賞与引当金繰入額	53,268	67,792
退職給付費用	17,118	13,871
役員退職慰労引当金繰入額	4,400	4,667
運賃	122,542	127,252
減価償却費	12,485	11,089
研究開発費	19,907	15,214
その他	512,231	528,736
販売費及び一般管理費合計	1,125,966	1,218,812
営業利益	508,986	210,006
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,171	24,935
その他	8,638	22,874
営業外収益合計	27,810	47,810
営業外費用		
支払利息	15,995	14,671
持分法による投資損失	1,869	1,058
売上債権売却損	3,664	3,436
支払手数料	2,625	18,791
為替差損	170,934	69,021
保険解約損	1,016	269
その他	1,704	3,594
営業外費用合計	197,809	110,843
経常利益	338,986	146,972
特別損失		
固定資産除却損	42	154
固定資産売却損	14	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,848	－
特別損失合計	1,905	154
税金等調整前四半期純利益	337,080	146,818
法人税、住民税及び事業税	193,150	124,322
法人税等調整額	△100,021	△49,431
法人税等合計	93,128	74,891
少数株主損益調整前四半期純利益	243,951	71,927
少数株主利益	4,111	2,386
四半期純利益	239,840	69,540

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	243,951	71,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,575	△1,342
為替換算調整勘定	△184,506	△194,278
持分法適用会社に対する持分相当額	△447	206
その他の包括利益合計	△190,529	△195,414
四半期包括利益	53,422	△123,487
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,701	△124,815
少数株主に係る四半期包括利益	3,720	1,328

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	337,080	146,818
減価償却費	37,194	33,445
のれん償却額	35,281	35,281
持分法による投資損益（△は益）	1,869	1,058
貸倒引当金の増減額（△は減少）	622	6,699
賞与引当金の増減額（△は減少）	95,520	58,569
製品保証引当金の増減額（△は減少）	23,167	△2,869
退職給付引当金の増減額（△は減少）	16,374	18,463
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,400	4,667
受取利息及び受取配当金	△19,171	△24,935
支払利息	15,995	14,671
為替差損益（△は益）	106,144	27,025
売上債権の増減額（△は増加）	286,107	1,709,144
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,142,405	△524,223
仕入債務の増減額（△は減少）	636,587	△424,699
前受金の増減額（△は減少）	306,325	256,297
その他	24,118	△43,370
小計	765,213	1,292,041
利息及び配当金の受取額	16,396	26,330
利息の支払額	△16,276	△14,925
法人税等の支払額	△45,716	△773,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	719,616	529,683
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△256,013	△413,290
定期預金の払戻による収入	546,300	439,022
有形固定資産の取得による支出	△7,819	△6,982
保険積立金の積立による支出	△99,858	△112,613
保険積立金の解約による収入	3,910	22,176
その他	△276	△5,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	186,242	△77,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△133,000	150,000
長期借入れによる収入	229,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△274,347	△354,458
社債の償還による支出	－	△100,000
自己株式の取得による支出	－	△28
配当金の支払額	△139,999	△350,291
少数株主からの払込みによる収入	－	2,850
財務活動によるキャッシュ・フロー	△318,346	△351,927
現金及び現金同等物に係る換算差額	△131,260	△40,108
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	456,252	60,616
現金及び現金同等物の期首残高	1,537,374	1,244,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,993,626	1,304,662

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	3,110,053	272,467	76,241	365,492	152,024	3,976,280	2,625	3,978,905
セグメント間の内部売上高又は振替高	275,926	－	35,277	305,086	151,466	767,757	36,858	804,616
計	3,385,980	272,467	111,519	670,579	303,491	4,744,038	39,483	4,783,522
セグメント利益又は損失（△）	412,023	△7,891	△27,068	186,743	65,246	629,053	16,380	645,434

（注） 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	629,053
「その他」の区分の利益	16,380
セグメント間取引消去等	△306,447
四半期連結損益計算書の経常利益	338,986

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	2,969,191	390,440	432,627	355,710	153,141	4,301,112	12,864	4,313,977
セグメント間の内部売上高又は振替高	195,217	－	47	241,439	59,215	495,920	43,461	539,382
計	3,164,409	390,440	432,675	597,150	212,356	4,797,032	56,326	4,853,359
セグメント利益又は損失（△）	△9,637	7,390	116,959	150,173	26,873	291,760	19,496	311,257

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	291,760
「その他」の区分の利益	19,496
セグメント間取引消去等	△164,284
四半期連結損益計算書の経常利益	146,972

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

区　分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	3,178,821	＋0.3	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	149,321	△46.0	日本(国際)
材料試験機	390,440	＋43.3	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	384,878	＋114.4	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	220,357	＋1.2	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	4,323,817	＋5.1	－

(注1)　金額は、販売価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

区　分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	4,193,713	△6.1	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	627,632	＋20.1	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	744,689	＋43.7	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	375,611	＋24.2	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	275,466	△78.1	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	6,217,114	△12.0	－

(注1)　金額は、受注価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第２四半期連結累計期間末（平成23年９月30日）

区　分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	5,634,406	＋12.6	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,211,883	＋4.5	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	551,882	＋75.2	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	519,191	＋5.7	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	148,113	△87.2	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	8,065,478	△0.7	－

(注1)　金額は、受注価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

区　分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランシングマシン	3,177,641	＋0.4	日本(国際),米国,韓国,中国
電気サーボモータ式振動試験機	149,321	＋5.0	日本(国際),米国,韓国,中国
材料試験機	390,440	＋43.3	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	375,015	＋108.7	日本(国際),米国,韓国,中国
その他	221,557	＋0.7	日本(国際),米国,韓国,中国
合　計	4,313,977	＋8.4	－

(注1)　金額は、販売価格によっております。
(注2)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
(注3)　日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。